

腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎で

ジクトル[®]テープ 75mg をお使いになる患者さん・ご家族へ

ジクトル[®]テープは1日1回貼付する、全身作用型^{ちようぶざい}貼付剤です。

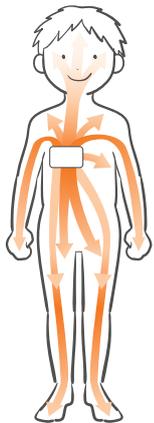
痛いところに貼る湿布薬とは、使い方が異なります。

貼る場所と1日あたりの貼る枚数を守ってください。

貼り薬には**全身作用型**と**局所作用型**があります。

同じ「貼り薬」なのに何が違うの？

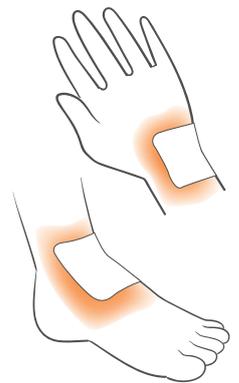
違いをみてみましょう。



全身作用型

全身作用型は口から飲むお薬と同様に、貼ったところからお薬の成分が血液に入り、全身に運ばれて作用します。

なるほど！
貼った場所だけに効くのかと思っていました。



局所作用型

ジクトル[®]テープは**全身作用型**なので、痛いところに貼る必要はありません^{注)}。

痛いときはたくさん貼ってもいいの？

決められた枚数を超えて貼ってはいけません。先生に指示された枚数を守りましょう。
貼る場所や注意点は裏面を確認してください。

ジクトル[®]テープとは？

- ジクトル[®]テープは、非オピオイド鎮痛薬(NSAIDs)です。
- 「ジクロフェナクナトリウム」を有効成分としたお薬です。

使い方 (用法・用量)

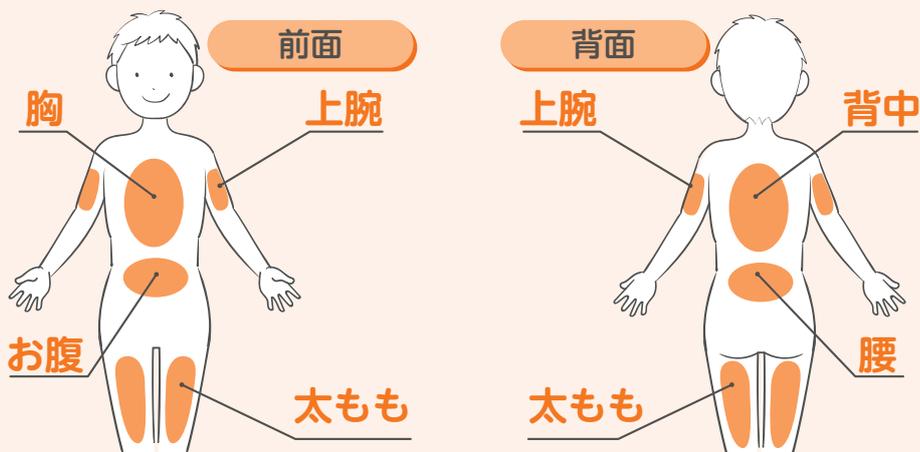
- 1日1回 ■ 1枚または2枚
- 24時間で貼りかえます。

- ジクトル[®]テープは決められた部位に継続して貼ることで、持続的な鎮痛効果が期待できます。症状が強いときだけ貼るような使い方はしないでください。貼らない日があったり、貼る時間を短くしたりすると、効き目があらわれないことがあります。

貼る場所

- 胸、お腹、上腕、背中、腰、太ももに貼ってください。
- 皮膚への刺激を減らすために、貼りかえるときは、前回とは違う場所に貼ってください。
- 貼る時には、お薬を手のひらで押さえてしっかりと貼りつけてください。また、関節などよく動かす場所や、汗をかきやすい場所はさけてください。

貼る場所の例



注意点

- ・医師または薬剤師に指示された貼る場所と、1日あたりの貼る枚数を守ってください。
- ・このお薬は全身に作用するため、医師から指示された以外の消炎鎮痛剤との併用はさけてください。
- ・処方された患者さん以外はお使いにならないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある女性は使用しないでください。

あなたのジクトル[®]テープを貼る枚数は

1日1回 _____ 枚です。

このお薬を使用して体調不良などを感じる事があれば、医師または薬剤師にご相談ください。